

自由帳

長岡市・越路西小 6年

見崎 真生  
みさき まお



私の将来の夢は、絵本作家になることです。

私は、よく読書を読みます。これまで、いろいろな本やユニークな絵本と出会いました。中でも、絵本は小さい子供にも読んでもらいたいやすい本です。だから、たくさんの子供達にも興味をもってもらえる楽しい絵本を作りたいです。  
私の絵本が、将来どんな夢を与えられるか今から楽しみです。

# 長岡

長岡支社 千940-0082 長岡市千歳1-3-43  
代表 0258(34)9600  
報道部 (34)9633 FAX(34)9660

# 見発見がいきいき シニア後押し

## 市民協働センターが講座



## 専門家講演、農作業ツアー

# 社会と関わり充実感

仕事を退職した後も趣味やボランティアで社会とつながる「地域デビュー」を促そうと、ながおか市民協働センターは専門家の講演などの講座を開くなどしている。11日には、長岡市内で農作業に取り組み団体を訪問するツアーを開催。高齢化が進む中、早い段階から生きがいを見つけることで充実したシニアライフを送れるようサポートする。

11日のツアーでは同市栃ノ木70代の男女約30人が参加を見学した。NPOは薬効尾地域の一員を訪問。60歳以上、地元NPO法人の作業があるという樹木クロモジ

クロモジの枝から葉を取り除く作業を体験するツアー参加者11日、長岡市一之貝

を販売しており、参加者はクロモジの枝から葉を取り除く作業を体験した。

参加した同市緑町の主婦、佐藤幸子さん(62)は「ボランティアなどは敷居が高く感じていた。実際に体験して、ハードルが下がった」と話した。

講座は本年度から本格スタート。第1弾となった4日は、パネルディスプレイを準備し、福社施設で「股旅もの」の演劇を披露する団体や、スノーシュー(西洋かんじき)をはいて冬の里山を観察するイベントを企画するNPO法人で活動する男女5人が、デビューのきっかけや「新しい人間関係ができた」「自宅以外で楽しみができた」と意義を語った。

センターの高橋秀一事務局長(40)は「老後に張りのある生活を送るには、社会と関わりを持ち続けることが重要だ。現場を見て、参加意欲を高めてほしい」と話している。